

岩泉町立小本中学校

2014年 12月 28日

大西 歩実(香川大学大学院教育学研究科)
北林 雅洋(香川大学教育学部)

【文献】

- (1) 「岩手県岩泉町 学校再開の現状ヒアリング・視察報告」東京電機大学 伊藤俊輔 作成(2011年)
http://news-av.ajr.or.jp/keikaku/shinsai_data/ito110914upload/110622_jwaizumi-cho%28school%29_report.pdf

【場所】

海から750m離れており、長内川の川岸に位置している。また、小本川から約200mの位置にある。

住所:岩手県下閉伊郡小本島保15

※別の場所で仮設校舎にて再開。



赤い範囲:岩泉町

岩泉町

緑の範囲:小本中学校

【東日本大震災による被害】

津波により校舎1階、体育館、運動場が浸水。上屋付プールが全壊。

【震災当日の様子】

学校裏山の神社が指定避難場所だったが、津波浸水後に孤立の危険があるため、消防団の指示で近くの交差点から国道を高台の上って避難した。(1)

【調査して言えること】

写真①では、小本中学校の校門があったと思われる場所を、海と反対側(南西側)から撮影している。手前の石には学校名が記されている。右手奥には体育館が写っている。この地点の、山側を通っている道路を挟んで反対側に、指定避難場所だった神社がある(写真②)。この神社の入口には「つなみひなん場所」の標識が設置されている(写真③)。

写真④では、山側の道路から体育館を撮影している。写真奥には小本川河口の水門が写っている。同じ地点から海側を撮影したのが写真⑤であり、10mを超える高さの防潮堤によって海を見ることはできない。その防潮堤の上から南向きに撮影したのが写真⑥であり、右端に小本中学校体育館が写っている。

実際の避難で向った国道の交差点までは、校門から約400mの平坦な道路を進むことになるため、迅速な避難が必要であった。



写真② 指定避難場所だった神社の入口
(2014/4/12撮影)



写真① 小本中学校の校門、南西側から
(2014/4/12撮影)



写真③ 神社入口に設置された標識
(2014/4/12撮影)



写真④ 小本中学校体育館、北西側から
(2014/4/12撮影)



写真⑥ 防潮堤の上から南向きに(2014/4/12撮影)



写真⑤ 防潮堤、小本中学校体育館裏の道路から(2014/4/12撮影)